

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林学童保育所	評価対象年度	平成 29 年度
指定管理者名	NPO法人希楽々	所管課	神林支所地域振興課
指定期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日(3年)	評価者(課長)	石田秀一

①事業実績

利用実績	①学童保育所 延べ利用人数 8,739人 日平均 30.1人 ②子育て支援センター 延べ利用人数(子+親) 9,107人 日平均(子+親) 31.8人
サービス向上の取り組み	①学童保育所 放課後の居場所としての充実したサービスの提供 ②子育て支援センター 子育て親子の交流の場の提供、相談支援や魅力ある事業の実施

②管理経費

区分	前々年度 (年度)	前年度 (年度)	当該年度 (29年度)	合計	備考
収入	指定管理料		19,536,398	19,536,398	協定額:56,460,000円
	利用料金		2,772,200	2,772,200	減免等73,100円
	自主事業収入		138,077	138,077	参加費131,708円、自己資金6,369円
	その他		6,800	6,800	子育て支援センター事業参加費
	計		22,453,475	22,453,475	
支出	管理経費		20,982,110	20,982,110	
	(うち人件費)		15,065,573	15,065,573	学童分10,611,357円 子育て分4,454,216円
	(うち光熱水費)		1,030,703	1,030,703	灯油、ガソリン、LPガス、電気、上下水道
	(うち修繕費)		128,130	128,130	建物107,730円、物品47,686円
	(うち委託料)		1,641,592	1,641,592	運転業務、児童送迎業務、消防設備点検
	自主事業費		138,077	138,077	材料費、交通費等
計		21,120,187	21,120,187		
差引			1,333,288	1,333,288	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
利用者の立場で事業を計画し実施していると認める。行事打合せ等の会議において、直営施設と指定管理施設とが区別され連携しにくい環境で始まったが、後半からは改善された。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	5	10.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	5	8.0	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	5	4.0	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
アンケートや来所した利用者との会話内容を実施分析し、利用者ニーズを適切に把握している。また、指定管理者の機動力を生かし魅力的な行事を計画実施し、直営では困難な事業に取り組んだ。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	5	10.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	5	8.0	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由)					
職員で対応可能な作業等については安易に業者委託をせず、指定管理者と施設が一体となって対応し経費削減を行う姿勢が見られる。また、会計管理については専用口座を設けて適切に管理している。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 人員確保が困難な状況で、適切な管理体制となっていると認める。児童送迎業務においては、学校との連絡調整が不十分なときもあり、連絡体制の見直しが必要と考える。子育て支援センターでは、業務中に利用者にご不快感を与えてしまうこともあり、従業員の就業モラルの改善が必要と考える。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	5	4.0
	(評価理由) 概ね適切に管理しているが、施設外回りの環境整備については、積極的な取組に不足があると感じます。子育て支援センターで使用している玩具の消毒については、非常に数が多く手間がかかるが適切に実施されている。				

④総合評価

評価点合計	93.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

・学童保育所においては、各児童の特性を把握し児童に合わせ適切な対応ができています。加配が必要と思われる児童に対しても加配の配置ができない状況の中で複数で対応するなど困難な状況を克服しています。自主事業をうまく組み合わせ、今までになかった屋外活動などを導入し、飽きのこない生活プログラムを実施しており、児童や保護者からも好評であり適切に運営されていると認めます。

・子育て支援センターにおいては、開館日や利用時間、施設設備、職員の対応については多くの利用者が満足しています。毎月イベントを開催するなど自主事業をうまく導入し好評を得ており、適切に運営されていると認めます。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

・学童保育所では、高学年の利用者が多くなってきており、市の定員基準を若干超える日が時々出るようになってきています。県の基準としては範囲内ですが、狭い空間で活発に活動していますので、事故やけがが起きないように十分注意して運営してください。また、特別支援の必要と思われる児童も利用されていますので、早期に加配担当職員の確保に努めてください。

・子育て支援センターでは、利用者の施設好感度が高く、リピーターも多くいます。支援のし過ぎに留意し、子育て支援技術の習得のため各職員の方の更なるスキルアップに努めてください。

・全体として、これまでの好感度を維持しながら、利用者や地域から愛される施設となることを期待します。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分
S 95.0以上
A 80.0以上95.0未満
B 60.0以上80.0未満
C 60.0未満